第 45 回

日本血管外科学会学術総会が

4 月 19 日(水)～21 日（金）に

広島国際会議場にて開催されます。

当院からは

血管外科センター長　今井崇裕　先生が

学術発表されますので、ご紹介致します。

進化するデバイス、
深化する技術

第45回 日本血管外科学会 学術総会 HIROSHIMA

The 45th annual meeting of Japanese Society for Vascular Surgery

会期：2017年4月19日(水)～21日(金)

会場：広島国際会議場・ANAクラウンプラザホテル広島

会長：末田 泰二郎 広島大学大学院医歯薬保健学研究院 応用生命科学部門 外科学

[総会事務局]広島大学大学院医歯薬保健学研究院 応用生命科学部門 外科学
〒734-8551 広島市南区霞1-2-3
TEL:082- 257-5216 FAX:082-257-5219

[運営事務局](株)メッド 〒701-0114 倉敷市松島1075-3
TEL:086-463-5344 FAX:086-463-5345
E-mail:jsvs45@med-gakkai.org

Japanese Society for Vascular Surgery JSVS

演題募集期間：9月13日(火)～10月12日(水)

ご登録はこちらのサイトから
http://www.med-gakkai.org/jsvs45/

「 圧迫療法の普及と地場産業の復興を目的とした NARA ソックス・プロジェクト 」

今井崇裕[1]　竹中美鈴[2]　和田小百合[2]
[1]西の京病院 血管外科
[2]西の京病院 看護部

抄録

日本を代表する靴下産業の奈良県では，明治時代末期から大正時代にかけ，隣接する大阪の繊維や足袋の問屋筋からの発注を受けて，農家の副業として地元の大和木綿を使用した靴下製造が盛んであった．現在奈良県は靴下製造生産地として，全国生産数量の 37.4%を占めているが，第二次大戦後，生活環境の西洋化にともない，靴下はこれまでの絹や木綿素材からナイロンが主流となり，近年は生産コストの安い東南アジアの輸入品が急増した．各社で生き残りをかけた企業努力を行っているものの，生産量は最盛期の 2 割程度に激減している．

また近年国内で予防医学に対する取り組みが盛んである．災害時にはエコノミークラス症候群がたびたび取り上げられ，弾性ストッキング(以下 ES)の着用は身近に行うことができ，血栓症の予防やリンパ浮腫治療の有効な手段である．

今回地元の医療機関，靴下会社，大学生の協力を得て，圧迫療法の普及と地場産業の復興を目的とした NARA ソックスプロジェクトを計画した．

県下の会社と提携し，ハイソックスタイプの弾性ストッキング(以下 ES)を製作した．研究期間は 2017 年 1～3 月の 2 ヶ月間．対象は健常ボランティア 30 名．検討項目は，製作した ES を装着して着用前後の下肢周囲径の変化，超音波パルスドプラ法による下肢の血流増加効果，アンケートによる官能検査．以上の検討結果について報告する．